

中国会計

結論

(株)葵ビジネスコンサルタンツ

現 状

東証; 1部や2部企業でも
中国だと「中小企業」

(株)葵BCに来社・セミナー参加
(大企業やB/Kも多数)

「会計無視」or
直ちに「国際会計の導入」

中国会計の
知識が欠如

国際会計の導入

= 監査法人・日本本社がOK！

- 中国人幹部が、マトモ
経営感覚(部下; 会計人の管理)
+ 中国会計の経験ゼロ
- 日本本社の固い決意 (人事 等)
✓ 事前の決定 勘定科目(名称・中身)

障 害

会計責任者の解雇が不可能だと、**困難！！** (独資・合併)

問題点

信頼 & 監査
コンセプト・ボス

会計ソフトの機能不足 & 操作性

対応策

契約；総務・国際会計の実施

監査

最良 「A;日本本社」が、現在の「B;日本監査法人」と「C;中国現地法人」に対する監査を依頼・契約

デ・メリット; 監査料金のアップ

メリット

- * 監査報告書が日本語
- * 「B;日本監査法人」に責任【有】
- * 問合せ先が「B」で、理解可能な会計

実務は、B
の中国法人